

1	審議会名	真田地域協議会
2	日時	平成24年9月13日(木) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、佐藤久美子委員、佐藤論征委員、関貞徳委員、竹村好平委員 竹村尚美委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、半田卓委員、半田榮範委員 牧野雅子委員、松木節子委員、山口市江委員、山宮浩美委員、若林ゆき子委員 【欠席委員】5名
5	市側出席者	高橋センター長、西澤市民生活課長、若林健康福祉課長、滝澤産業観光課長 中山建設課長、佐藤上下水道課長、藤沢教育事務所長、佐藤消防署長 滝沢地域政策係長、中村庶務係長、林主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成24年9月26日
協議事項等		
1	開会(関副会長)	
2	会長あいさつ(半田会長)	<p>前回の協議会から分科会協議が開始となった。本日も前回に引続き忌憚のない意見、普段思っていることを何でも出していただき、各分科会で様々な意見の中から真田地域を良くしていくためにはどのようにしていったら良いかを協議していただきたい。本日は前回決まった正副分科会長の紹介をいただき、前回の分科会での内容を簡単に発表願いたい。</p>
3	センター長あいさつ(高橋センター長)	<p>前回の協議会で3つの分科会を決定していただき、分科会協議が開始された。本日も引続き分科会協議を進めていただき、活発な議論のなかから分科会としての方向性が出てくれば良いと思う。</p>
4	協議事項(進行:半田会長)	
	(1) 分科会協議	
	(会長)	分科会協議に移る前に、各分科会ごと正副分科会長に自己紹介いただき、前回の分科会での内容を簡単に報告願います。
		～各分科会正副分科会長自己紹介～
	第1分科会	分科会長 田中新平 副分科会長 竹村好平
	第2分科会	分科会長 佐藤論征 副分科会長 山口市江
	第3分科会	分科会長 山宮浩美 副分科会長 長崎伊登子
	(会長)	続いて各分科会ごと前回の話し合いの内容を報告願います。
	(田中第1分科会長)	第1分科会では地域の活性化のために地域ブランドということで何が出来るか考えたいと話している。農業・商業・観光を全体的に盛り上げることを目的としている。このようなことがあったら良い、出来たら良いというアイデア・意見が多数出の中で、何が出来るのか、どうしていけば良いかを含めて協議を進めていきたい。
	(佐藤第2分科会長)	第2分科会では公共交通について話し合いを進めている。現状の上田バスの運行状況等について意見交換をしたのでいくつか紹介したい。菅平線では菅平ダムを通過する際に車内に観光案内が流れて良い。乗客が着席するまでバスが発車しないので安心して乗ることができる。長野から入軽井沢に帰宅する際、上田駅からの接続が悪く帰宅まで3時間半掛かった。新幹線のダイヤと合っていないため待ち時間が多い。傍陽線では本原地域内を周るバスにより利便性が向上したという声がある一方、空白地域が多いという点。高齢者に

関しては利用状況を見る中で、普段は歩く距離であっても夏場には1・2区間乗車することもあるという意見もあった。市内でも真田地域から丸子地域の深部へ行く際に宿泊より高い料金が掛かってしまうということも出された。観光客が利用する際に真田地域の中がわかりづらいという声があり、案内所や案内板の整備が必要ではないかという意見もあった。意見交換するなかでキッズパスの取り組みが注目されたが、真田地域の乗車率が高かったという報告が先程の真田地域公共交通利用促進協議会でなされた。さらに、夢工房前のバス停についても活発な意見交換が行われ、現在は待避所がない状態でのバス停であるが、夢工房の出入りとも重なり非常に危険であるという指摘があった。御土産の販売もしている夢工房をバスターミナルとしてはどうかという意見もあった。赤字路線バスに対して利用促進協議会で検討している料金低減化についても意見交換がなされ、京都府の京丹後市の200円バスの成果を踏まえて上田市も赤字バスに補助金を出すのではなく利用することへの補助という説明があった。料金低減に際して交通手段の無い高齢者、今後増加が見込まれる運転をなくなる高齢者に対して有効ではないかと話があった。バスを利用せず自転車で通学する学生についてもバス料金・定期代が下がれば利用が見込めるという話があった。

(山宮第3分科会長) 第3分科会では福祉・防災・定住化の促進という大きなテーマで話し合いを進めたがテーマが大きいため、これからどちらの方向へという絞る方向を決めようとしている。問題・課題となっていることは何かという点から、防災についての話が挙がった。防災の点では各自治会での問題点、自治会での組織作りや防災のあり方については自治会毎に取り組むべきことではないかと議論がなされた。真田地域の人口の減少、特に長地区・傍陽地区での減少が多くなっているのではないかとされるなかで地域で住みづらいということも挙げられた。高齢者が住みづらいということは若い人たちにとっても同様ではないだろうかということ。若い人も高齢者も安心して暮らせる地域づくりが必要ではないかということで、この辺りを今後の話し合いに盛り込んでいきたい。

(会長) 各分科会から報告いただいた、御意見、御質問ありますか。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

(会長) それでは分科会に移りますが、それぞれ流れ解散となるので、会議事項のうち、その他で委員の皆さん、または市から何かありますか。

(滝沢地域政策係長) 過日、電源地域振興センターの研修事業で「多様な主体が活躍する協働によるまちづくり」という研修があり、第4ステージへの取り組みや市民協働の関係もあり地域政策係の林主査が出席したので報告をさせていただきます。

～地域政策係 林主査から資料に基づいて説明～

(中山建設課長) 夏休みキッズパスの実績報告をさせていただきます。

～資料に基づき説明～

(滝沢地域政策係長) 他の協議会の検討テーマについて現時点での状況をまとめたものを参考にご覧いただきたい。また、上田市議会報告会についての依頼と地域づくりコーディネーター養成講座開催のお知らせがありますので御参加ください。また、過日行われた上田市景観計画説明会の資料を配布しましたので参考までにご覧ください。

～資料に基づき説明～

(会長) 全体通してご質問等ありますか。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

(会長) 全体会は以上として引続き分科会協議をお願いします。

5 その他

第7回協議会の開催予定について

(副会長) 平成24年10月17日(水)午後7時から行いたい。

【質疑・意見等】

- ・ なし

【決定事項】

- ・ 第7回協議会の開催は、平成24年10月17日(水)午後7時～

6 閉 会

～各分科会に分かれ協議。第1分科会 301 会議室、第2分科会 302 会議室

第3分科会 303 会議室～

～各分科会毎に閉会～